

沖縄県護国神社社報

うむい 13号

社報「うむい」について

沖縄の言葉で「想い、願望、考え、所存」のことを「ウムイ」といい、戦争で亡くなっていった人達の思い、そして残された遺族、戦友達の想いを次の世代へと継承すべくつけられた名前。

日清戦争以後、敢然と国難に立ち向かっていった先人たちの尊い精神が、この「うむい」を通して末代まで受け継がれ、真に戦争の無い平和な世の中になるようにとの願いが込められている。

御創建75年記念事業完功特集



拜殿と新社務所

東日本太平洋沖地震により被災された皆様の一日も早い復興と亡くなられた方々のご安寧を心よりお祈り申し上げます。

記念事業完功紹介

お陰様で記念事業は三月末を以て社務所を始め手水舎、玉垣、境内整備の全てを完功致しました。写真でご紹介致します。



▲正面玄関ホール エレベーターも設置しバリアフリーに

▲奥武山公園からの外観

社務所竣功祭

平成22年12月23日



▲お清めのお祓い



▲テープカット 右から、設計・設計集団閃 松田社長、座喜味会長、伊藤宮司、施工・太名嘉組 名嘉社長



事業の中核をなす社務所が完成し昨年二月三日、役員、総代、関係者のもと竣功祭を執り行いました。悪天候や様々な状況により工程はかなり遅れておりましたが、何とかお正月に間に合わせる事が出来ました。祭典のあとは新社務所玄関前にてテープカットが行われ、続いて初使用となる二階大会議室において直会を行いお披露目となりました。



▲直会

創建七十五年事業竣功を祝う

会長 座喜味 和則



うりずんの春を迎え沖縄県護国神社崇敬者の皆様にはお変わりありませんでしょうか。

ご機嫌お伺い致します。当社社務所が昨年十二月二十三日に竣功し平成二十三年のお正月には二十五万人の初詣者をお迎えすることが出来ました。厚く感謝とお礼を申し上げます。希望に満ちた平成二十三年の卯年を迎え今後の飛躍が期待されておりましたところ、去る二月十二日にマグニチュード9.0、震度7の東北・関東大地震と太平洋沿岸を襲った大津波で宮城県、岩手県、福島県などが大きな被害を受け二万七千人余の人々が犠牲となりました。心からお悔み申し上げます。政府はこの災害を「東日本大震災」と名付けました。被害者の皆様の再起を切に祈念致します。

今度は「第五十三回春季例大祭」に併せて「御創建七十五年記念事業完功奉祝祭典」を挙げることに致しました。新社務所の外に手水舎、スロープ、玉垣改修、神楽殿改修、防火水槽の設置などの関連施設が整い広々とした境内は植樹と芝生によって神々しくなりました。本事業にご協力ご支援下さった方々のご芳志を末永く残す芳名板も設置されました。特に第二境内に天皇、皇后両陛下の御製御歌の石碑が建立され、皇室との深い絆が結ばれることとなりました。奉祝式典には県内のみならず県外からも関係者多数がご参列戴くことになっており誠に有難うございます。特に二十万円以上のご寄付者及び設計、工事施工業者へ感謝状をさしあげて感謝の意を表す事に致しました。式典後は舞踏による「清興」並びに祝賀会を併せて催し皆様とともに竣功を喜びたいと存じます。本事業の完成により奥武山公園は着々と整備され鎮守の杜、スポーツの杜、市民憩いの場として発展する事を期待しております。御創建七十五年を契機に更に八十年、九十年、百年と歴史が刻まれて名実共に平和の殿堂「沖縄県護国神社」として全県民に広く慕われることを切に願望して私の所感と致します。

護国の大神国護るらむ

宮司 伊藤 陽夫



昭和十一年に招魂社として御創建から七十五年目の今年、皆さんの沖縄県護国神社はかくも壮大な境内神域に相成りました。ご祭神の御威徳のいやまずますに盛んなることを目の当たりにできます喜びをみなさまとともに噛みしめたく存じます。宮司就任からまた四年目の駆け出しですが、さいわい天の時、地の利、人の和を得て、此の度の記念事業完功をみる事ができました。此れひとえに御神徳、先人の積徳、崇敬者みなさまの真心の結集のためものであります。

時代の要請とともに変貌したわが神社が、時局から沖縄県の護国の大神に、神威の援けをいただきたいのは勿論尖閣諸島の防護ではありません。しかし今はまず次のごとき祈りの言葉をともに手を合わせて心から念じさせていただきますよう。

「東日本大震災の大津波に攫われ海川に呑まれ苦しみのうちにあえなく玉の緒を絶えたる御霊たちをおだいに守り導き給い幽世の然るべきところに進み往かしめ給い早けく幸魂に更には和魂にと成らせ給い日日起る余震津波を鎮め災害に苦しむ諸人たちの身をも心をも平穩に守り導き給い復興の力と叡智を授け給い一日も早く旧の状態に立ち返らしめ増すに勝れ輝く状に蘇らせ給いて吾らが大和の国を神ながら永久に護り恵み幸榮えさせ給え」

世界が認めるところ、並みの国ならば、不満は一気に暴動化し、政治的運動となりかねません。しかし大和の国はそうはならない。なぜか。皇室が静かに存在してくださっているからです。天皇陛下のこのたびの御言葉、自主停電、お見舞いなど御言動の素早く行きとどいた、心にしみる大御心のご表明は、まさに闇夜を照らす弥勒菩薩のご来臨ご来光そのものです。加えて皇室あげてのお心配りはここで詳細にのべるまでもないでしょう。一方「天罰」発言や「天佑」発言が耳目を集めていますが、なにはともあれ、海陸のいづへを知らず姿なきあまたの御霊くに護らむ(皇后陛下御歌)です。その証拠に中共が六月十七日、千隻の船団で尖閣の魚釣島に押し寄せてくる話は消えました。私どもの祈りがきかれていますのでしよう。

二階



▶大会議室(ホール)
最大約二〇〇名を収容できるホールでは各種会合やレセプション、講演会、また披露宴会場などにもご利用頂けます。



▲大会議室レイアウト(学校形式)



▲大会議室レイアウト(懇親会)

新社務所建築のコンセプト

外観は和洋折衷による伝統的威厳と現代的瀟洒を意匠し、内部はゆたの憩いを旨に、各部屋の用途・連携に意を注ぎ、壁・床・天井などの色彩も配慮されています。
玄関入り口の構えは、英霊への畏敬の心を誘うデザインが施されており、参拝者・祈願者を迎える控え室、手水、拝殿回廊への導線はもとより、休憩・集会の空間にゆとりをとっています。
神社社務所特有の機能的要素も、快適・便宜さをベースに完備し、潔斎・着装・参籠等の斎館や、参集殿としての機能も擁しています。
更に外装の壁廻り、柱の色彩は平城京の大極殿を彷彿とさせ、屋根の傾斜は皇居長和殿のゆるやかな三寸勾配と同じで長く伸びやかな棟の造形も期せ

ず一致しています。申すまでもなく屋根瓦は、沖縄伝統瓦の美の粋をとっています。
建材が鉄筋コンクリートである理由は、沖縄常襲の強烈な颱風や強い紫外線を防ぐためであり、また、神社境内地が周辺より10メートル近くも高いためこの建物で土留め(擁壁)を兼ねた鞏固な造りにする必要があったためでもあります。この高低差がある雑木斜面を切り崩し、土留めを施し境内の平面から下へ二層を加え、三層構造(三階建て)を企てることによって、ご本殿(一階建て)の高さをこえない工夫と成り、境内地活用最大限の建築面積、幅20米、長さ40米、即ち800平米という空間を確保することにも成功しています。

最上階(三階)



▲斎館



▲祈願控室



▲応接室



▲役員室



▲中会議室(和室)
タタミ60畳の部屋は参拝の休憩所、ご遺族の憩いの場所としてのスペース。また、茶華道などお稽古事にもご利用頂けます。



▲社務所玄関横の植え込み



▲境内は全面芝生

植栽



▲外壁の植栽



▲敷地全体には主に桜を植樹

この他写真では紹介できませんでしたが、社務室・宮司室・巫女室・潔斎場・外祭準備室・書庫・倉庫・厨房・食堂・宿直室・屋外手洗いなどが備えられました。美しくなった沖縄県護国神社へ是非お参り下さいませ。



手水舎



境内整備



玉垣



スロープ



2F駐車場



1F駐車場



御賽銭箱も新調されました。

天皇陛下御即位二〇年
両陛下御成婚五〇周年記念事業
歌碑建立は4月23日に除幕式
御即位の記念に境内に歌碑を建てる計画が進められておりましたが、ついに、建立の運びとなり御製御歌が決定しました。
また、揮毫者はそれぞれ著名な沖縄県の茅原南龍先生と大分県の柏木白光先生に決まりました。四月三日に除幕式が行われます。次号にて詳しく掲載致します。

今上陛下 御製

弥勒世よ

願て揃りたる

人たと

戦場の跡に

松よ植ゑたん

皇后陛下 御歌

鹿子じもの

ただ一人子を

捧げしと

護国神社に

語る母はも

永代命日慰霊祭のご案内

永代命日慰霊祭はご遺族からのお申込みにより行われます。ご命日の午前十一時より宮司齋主により斎行される慰霊祭です。お申し込み後はご命日に毎年ご参列のご案内を致します。また年二回発行の社報をお届け致します。沖縄戦で散華されましたご英霊を永代に亘りお慰め致します。



※申込み初穂料として二万円以上をお納め頂きます。お問い合わせ 〇九八―八五七―二七九八 (沖縄県護国神社社務所)

永代命日慰霊祭新規申込者御芳名

群馬県富岡市 櫻井 勝
群馬県高崎市 江積 栄一
群馬県高崎市 江積 節子
永代命日慰霊祭御供
奉納者御芳名

北海道札幌市 土橋 慶子
高知市南国市 西原 常子
愛知県刈谷市 丹村 要二
岐阜県下呂市 熊崎 つや
沖縄県那覇市 高江州 愛子
岐阜県岐阜市 岡田 きよ子
愛知県岡崎市 内藤 はる子
神奈川県鎌倉市 関 政子
和歌山県有田郡 西本 とよ子
沖縄県那覇市 高江州 愛子
東京都武蔵野市 渡辺 三郎
北海道札幌市 櫻田 スミ子
北海道足寄町 大竹口 重幸
玉串料奉納者名(社務日誌掲載以外)
日本会議 出島 正人
東京都練馬区 佐々木 真太郎
沖縄ひろしまの塔追悼式参拝団
東京都練馬区 稲川 洋三
甲斐の塔維持管理委員会
出雲大社教 管長 千家 達彦
栃木県護国神社 齋藤 毅
青森県護国神社 宮司 齋藤 毅

遺族からの手紙

先の大戦に於いて住民を巻き込んだ世界戦史上稀なる戦争で、二〇万金柱の尊い命が、九〇日間で沖縄の土に化してしまつたにもかかわらず、前首相、鳩山国会議員の口の軽さ、これが民主党政権の本音かと思ふと我々日本人は元より親兄弟をお国の為には捧げた遺族にとつてこれほど嘆かわしいことはありません。県外、国外を言葉巧みに、沖縄県民を愚弄した饒舌としか思えません。抑止力とは一体何であるのか考えさせられます。六十六年前、日本本土の防波堤となつたにもかかわらず、又もって抑止力を大義名分に用い、それをやがて方便と語る元首相に沖縄県民は元より日本国民もアメリカ政治家を信ずる事ができなくなり、我々は誰を信じれば良いのか迷い犬の様な気持です。宮司様がおっしゃる様に祖霊の聖地に目覚め、日本人として、今、原点に立ち、中国やロシアに干渉される事なく、正々堂々と立ち向かう精神が必要と思ひます。一国の首相が靖國神社に参拝できる日、一日も早く訪れることを期待しております。平成二十三年三月 千葉県勝浦市 福山 富二

御奉納頂きました



●絵画 二月九日、神戸商船大学航海科8期生約二〇名(宮司の同級生)が正式参拝に訪れました。御創建七十五年を奉祝して、神戸市在住の海洋船舶画家・高橋健二様の絵画学徒疎開船「對馬丸・平和への願いを込めて」を作者、神戸商船大学卒業生有志、神戸市在住有志からご奉納頂きました。本来の目的であった貨物船として活躍していたころの「對馬丸」を描き、また犠牲になられた方々への鎮魂、現在の平和を大切にすることを誓いながら描かれたそうです。對馬丸が胸を張って前進していく大変躍動的な大作です。

●紅型

瑞慶山和子様(那覇市在住) 琉球銀行主催の「第16回ゆうぎん紅型デザイン公募展」(平成19年)で大賞に選ばれた『虹の中に咲く花々』という作品です。御創建75年を奉祝してご奉納下さいました。瑞慶山さんは第11回目の同展に於いても大賞を受賞されています。

- 正面幕・正月参拝者用御神酒2樽 (株)ジーマ、ジーマックス様
●清酒 龍華会様
●泡盛 (株)久米島の久米仙様
●鶏卵 沖縄鶏卵販売様
●国旗 たけや旗染店様
●蘭 蘭フラワー様
●生け花 MOA山月様
●米 宮本雅史様
●米 近藤常夫様
●米俵一俵 北海道上川神道青年会様
●鮮魚 居酒屋「翔」様



記事夢成

この度の東北地方太平洋沖地震で被災された方々には早期復興を願ってやまない。報道された被災者の方々の冷静な姿は世界で評価されている。日本人の誇れるところである。一方沖縄では尖閣諸島が狙われると、重要な領土領海問題を抱えている。これは沖縄だけの問題ではなく日本の問題。日本は今、未曾有の危機を迎えているのである。この問題に関しては当社でも社頭に署名用紙を備え法改正など呼びかけている。署名されるスピードを見てもこの問題の関心度は高いことが分かる。日本の領土である尖閣諸島に日本人が上陸することを禁じている政府の方針はいいがなにか。昭和二十年石垣町民が船で台湾へ疎開中、米軍の攻撃を受けて沈没。魚釣島へ緊急避難したものの飢餓や病死により命を落とした。昭和四四年に当時の石垣市長により魚釣島で慰霊祭が行われている。それ以来慰霊祭が行われている。尖閣での慰霊祭が行われることを御霊もさぞかしお待ちのことであろう。こうした御霊をお慰め申し上げることこそが日本の復興の条件である。かなしきいのちを積み重ね守る大和島根は、三井甲之が歌う「ますらを」のかなしきいのちだけではない。

社務日誌抄

平成二十二年十月〜平成二十三年三月

- 10月
 - 9日 鎮魂なくげの碑慰霊祭宮司参列
 - 9日 那覇まつり成功祈願祭
 - 14日 映画監督新城卓様外一名正式参拝
 - 16日 日本会議松島事務総長他正式参拝
 - 17日 神嘗祭遥拝式
 - 17日 日本大学教授百地章様正式参拝
 - 18日 靖国神社秋季例大祭宮司参列
 - 19日 浮島神社例大祭宮里局長参列
 - 20日 沖繩神社例大祭加治権欄宜参列
 - 20日 生天光神明宮例大祭高良出仕参列
 - 21日 東京都遺族連合会三〇名正式参拝
 - 21日 群馬県遺族会四〇名正式参拝
 - 22日 群馬の塔慰霊祭局長参列
 - 22日 普天満宮例大祭宮司参列
 - 22日 秋永権欄宜助動奉仕
 - 22日 第三十三回沖繩の産業まつり
 - 22日 成功祈願祭
 - 22日 宵宮祭 霊璽簿奉安祭
 - 23日 第五十二回秋季例大祭
 - 24日 安里八幡宮例大祭宮司参列
 - 27日 広島県遺族会八三名正式参拝
 - 27日 靖国神社小方権宮司外二名正式参拝
- 11月
 - 1日 丸徳ガス創業祭
 - 3日 明治祭遥拝式並びに教育勅語喚発百二十周年記念祭



▲霊璽簿奉安祭(10/22)

- 3日 八光山二六名正式参拝
- 4日 因伯の塔慰霊祭宮司、木原巫女奉仕
- 5日 山口県遺族連盟三一名正式参拝
- 6日 防長英霊の塔慰霊祭宮司参列
- 8日 山梨県知事横内正明様並びに山梨県遺族会七四名正式参拝
- 8日 岩手県遺族連合会七名正式参拝
- 9日 静岡県遺族会六五名正式参拝
- 9日 静岡の塔慰霊祭宮司参列
- 9日 高根県遺族連合会二七名正式参拝
- 9日 徳島県遺族会八名正式参拝
- 9日 熊本県遺族連合会三二名正式参拝
- 9日 栃木県連合遺族会自由参拝
- 9日 長崎県戦没者慰霊奉賛会自由参拝
- 10日 長崎県連合遺族会八〇名正式参拝
- 10日 長崎の碑慰霊祭宮司参列

- 10日 世持神社例大祭宮司参列
- 11日 青森県遺族連合会六名正式参拝
- 11日 みちのくの塔海上慰霊祭宮司参列
- 11日 千葉県遺族会三三名正式参拝
- 11日 高知県遺族会三〇名正式参拝
- 11日 のじぎくの塔慰霊祭宮司参列
- 11日 鳥守の塔慰霊祭宮司参列
- 12日 土佐の塔慰霊祭宮司奉仕局長参列
- 12日 大城巫女奉仕
- 14日 岡山県遺族連盟二七名正式参拝
- 14日 住吉神社例大祭宮司、秋永権欄宜奉仕
- 15日 兵庫県遺族会三八名正式参拝
- 15日 奈良県遺族会二五名正式参拝
- 17日 前田高地平和の碑慰霊祭
- 17日 加治権欄宜、高良出仕奉仕
- 17日 佐賀県遺族会八〇名並びに佐賀県護国神社宮司宮田豊様正式参拝



ご神前で正々堂々と百人一首大会

二月二日「TOSS五色百人一首大会」が拝殿にて開かれました。この大会は全国の小学校の教員が日本の伝統文化である百人一首を子供たちに伝え普及させるため、平成一年に協会が結成され各県で大会が行われています。今回六回目を迎える沖繩は当社拝殿が会場になりました。五色百人一首とは百人一首を五色に分けて二〇枚を対で競い合うもので、拝殿に敷き詰められた畳の上には参加した子供たち約一〇〇名が正々堂々と勝負し、父兄らも応援に加わり賑やかに大会は進みました。神社に子供たちの清らかな声が響き、英霊もしばしお楽しみ頂けたことと思います。



▲野口健さんは遺骨収集のため来沖され、翌日当社へご参拝されました(11/26)



初詣

新社務所が昨年末に完成し新しい社務所で平成二三年のお正月を迎えました。この造営により境内がさらに広がりご参拝の皆様にはゆったりと初詣頂きました。「上等になったサ〜」(沖繩弁)と県民の皆様からお声かけ頂き本年(三が日)は昨年を上回る二五万人の初詣参拝者数となりました。この数は沖繩県の人口(本島のみ約百万人)からみると四人に一人がご参拝に訪れていることになり沖繩戦で亡くなられたといわれる比率と重なります。ご祭神のご神威を感じざるを得ません。



- 18日 北海道上川神道青年会北霊碑慰霊祭局長参列秋永権欄宜奉仕
- 18日 宮崎県遺族連合会三九名正式参拝
- 18日 ひむかいの塔慰霊祭宮司参列
- 18日 岐阜県遺族会六二名正式参拝
- 19日 北海道連合遺族会四七名正式参拝
- 19日 茨城県遺族連合会二七名正式参拝
- 23日 新嘗祭
- 23日 末吉宮例大祭宮司参列
- 24日 埼玉県遺族連合会六〇名正式参拝
- 25日 和歌山県神社庁三三名正式参拝
- 25日 神奈川県遺族会四五名正式参拝
- 26日 和歌山県遺族連合会紀乃國之塔参拝団二名正式参拝
- 26日 アルピニスト野口健様正式参拝
- 29日 福島県遺族会三〇名正式参拝
- 30日 ふくしまの塔慰霊祭加治権欄宜、大城巫女奉仕
- 30日 新潟護国神社欄宜伊藤豊彦様外二名正式参拝
- 12月
 - 6〜7日 九州地区護国神社宮司会当社にて開催
 - 11日 紫鳳書道会柏木白光様正式参拝
 - 23日 天長祭
 - 23日 新社務所竣功祭
 - 26日 神符守札清祓助勤者安全祈願祭
 - 27日 世界日報社木下義昭様正式参拝
 - 31日 大祓式古神札焼納祭除夜祭

- 1月
 - 1日 歳旦祭
 - 3日 元始祭
 - 10日 成人祭
 - 26日 新社務所披露目琉球八社午餐会
 - 29日 富山縣護国神社宮司梅野守雄様外職員一同正式参拝
 - 29日 札幌市連合遺族会三三名正式参拝
 - 29日 装道礼法きもの学院副院長山中緑様外一名正式参拝
- 2月
 - 1日 北霊碑慰霊祭加治権欄宜、木原巫女奉仕
 - 3日 節分祭
 - 3日 沖繩京都の塔奉賛会一九名参列
- 1月
 - 10日 日本会議事務総長梶島有三様正式参拝
 - 11日 紀元祭
 - 12日 JYMA日本青年遺骨収集団三〇名正式参拝
 - 17日 折年祭
 - 18日 SYDボランティア友の会
 - 18日 沖繩遺骨収集三〇名正式参拝
 - 19日 神戸商船大学N8期生二名正式参拝
 - 21日 山形県神社庁山形の塔慰霊団四五名正式参拝
 - 22日 山形の塔慰霊祭宮司参列
 - 22日 山梨県神道青年会二名正式参拝
 - 23日 山梨県神道青年会甲斐之塔慰霊祭宮司参列
 - 27日 NPO法人環境保全機構理事長東條由布子様正式参拝
- 3月
 - 3〜4日 全国護国神社會定例総会の為宮司東京出張
 - 7〜8日 九州地区護国神社研修会当社にて開催
 - 9日 北海道沖繩会二八名正式参拝
 - 10日 北海道沖繩會慰霊祭宮司参列
 - 13日 神道政治連盟大阪府本部三九名正式参拝
 - 13日 なにわの塔慰霊祭宮司参列
 - 21日 春季皇霊祭遥拝式
 - 21日 東北地方太平洋沖地震災害復興祈願祭
 - 22日 表千家正式参拝



▲沖繩京都の塔奉賛会の皆様が節分祭にご参列され祭典後の豆まきにもご参加頂きました。(2/3)

- 8日 日本和裁士会沖繩県支部針祭
- 6日 たちあがれ日本沖繩研修会
- 6日 平沼越夫代表外三四名正式参拝
- 22日 表千家正式参拝

たちががれ日本 平沼代表でご参拝



二月六日「たちががれ日本沖繩研修」一行が訪れ新社務所大会議室において研修が行われました。党首平沼赳夫代表を始め園田博之衆議院幹事長、中山恭子参議員幹事長代理も出席され研修に先駆け正式参拝を頂きました。また、研修では石垣市議の仲間均氏が尖閣問題についてお話しされました。

靖国神社京極高晴宮司もご出席 九州地区護国神社宮司会 九州地区護国神社職員研修会 血沖繩



▲中央:京極宮司

九州に鎮座する護国神社で年に一度持ち回り各宮司、また各職員単位で集まり申し合わせや研修が行われています。本年はこ



▲普天間宮司よりご説明頂きました。

沖繩が当番県となり開催となりました。宮司会は昨年十二月六日七日の両日に開催され、靖国神社京極高晴宮司のご臨席賜り、九州八県の宮司が集合、正式参拝の後会場をホテルに移し会議が行われました。懇親会では琉球舞踊でおもてなし申し上げ、翌日はバスで沖繩総鎮守波上宮(末安大



▲普天間宮司よりご説明頂きました。

孝宮司)、普天満宮(新垣義夫宮司)を参拝しました。また、新垣宮司にはバスに同乗頂き普天間の実情などご説明頂きました。普天間飛行場を展望台から眺め午後は斎場御嶽を参拝し解散となりました。



▲沖繩戦のジオラマ

また、今年三月七日八日の両日で開催された職員研修会では靖国神社より常泉雅宣権禰宜のご出席を頂き八県から各職員が集合、正式参拝の後新社務所にて会議が開かれました。会議では各県正月の状況報告などを発表し意見交換など、予定の時間を延長するほど熱心な話が出来ました。翌日は陸上自衛隊那覇駐屯地広報室でジオラマ(写真)にて沖繩戦の説明を受けたほか沖繩の自衛隊の活動などを拝聴、その後は海軍壕公園へ移動し壕の見学をして昼食後に解散となりました。

今年日本の檜舞台ともいえる沖繩で今年開催できる巡りあわせとなり現状を少しでも知っていただく良い機会に恵まれ両会とも充実した会になりました。

編集後記

連載の「大御心と沖繩」はお休みさせていただきます。なお次号で完結致します。お楽しみに。さて、ついに皆様にご報告できる運びとなりました。東日本のことを思うと唯々祈ることしか出来ませんが、日本を復活復興させるためこそ沖繩からも新生の気をまきおこして参ります。すでに新社務所ホールでは県民の方々にご利用頂き講演会やセミナーも催されており、皆様の厚情に深謝致しますとともにこれからも沖繩県護国神社へのご理解ご協力を宜しくお願い致します。

沖繩県護国神社人事異動

- 高仲 彌 嘱託の任を解く
- 平成二十三年三月三十一日付
- 加治 順人 禰宜に任ずる
- 木村 健吾 権禰宜に任ずる
- 高良奈緒矢 権禰宜補に任ずる
- 平成二十三年四月一日付

発行 平成二十三年四月日
発行所 沖繩県護国神社
〒900-0026
沖繩県那覇市奥武山町四四番地
TEL 098-857-2798
FAX 098-857-7777
HP www.okinawa-sokoku.jp/
編集担当 秋永 万岐
印刷所 株式会社近代美術